

オリックス株式会社

2020年3月期第3四半期 決算説明資料

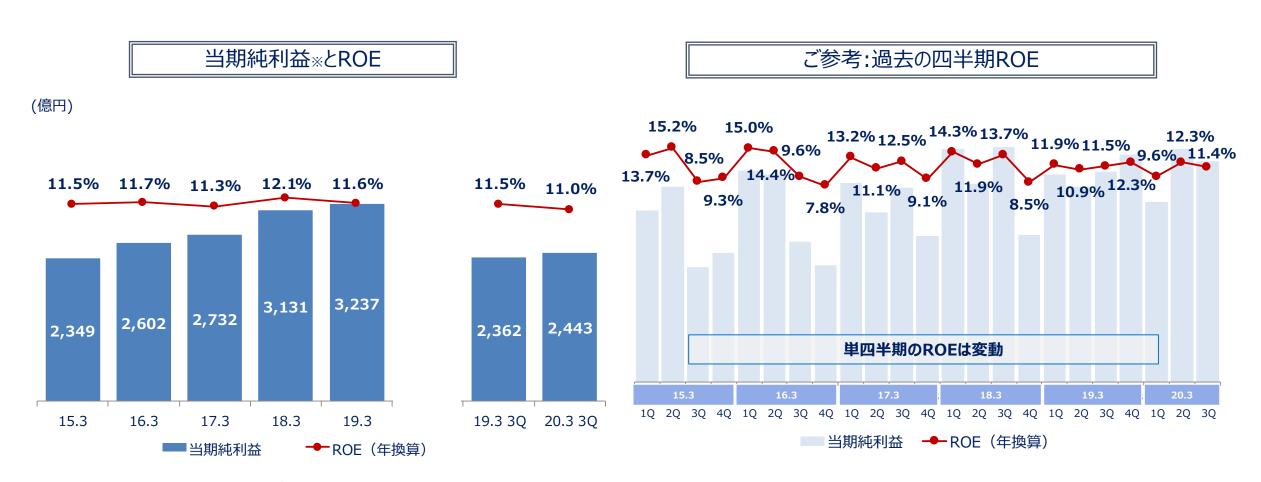
執行役 財経本部長 矢野 人磨呂

2020年2月3日

業績総括(1) 当期純利益 / ROE



✓ 当期純利益は2,443億円(前年同期比3.4%増)、ROE(年換算)は11.0%



※「当期純利益」は「当社株主に帰属する当期純利益」を指します。

業績総括(2)セグメント利益の内訳



20.3期 3 Q セグメント利益

3,529億円 前年同期比+19% (+551億円)

うち 売却益除**く**

2,385億円 前年同期比+7% (+160億円) 減益セグメントもあるが、新規M&Aの貢献(NXT, Avolon)もあり、前年を上回る水準を確保

うち 売却益

セグメント利益

1,145億円 前年同期比+52% (+392億円) オリックス・リビング、Houlihan Lokey社に続き、PE投資先の売却など資産を入替





ご参考

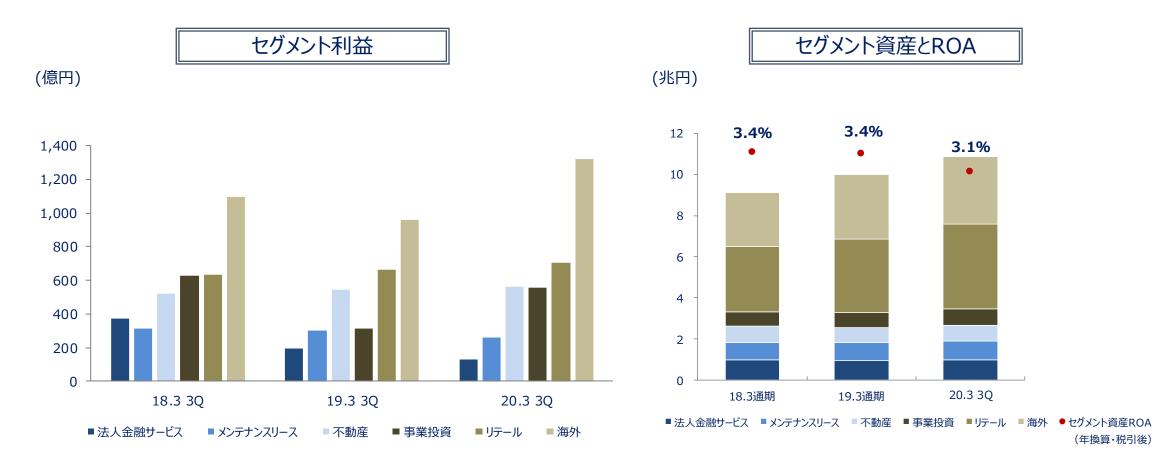
	新規投資	20.3期3Q以降
19年10月	風力発電事業	(海外) 投資先の完全子会社化
19年12月 20年1月	PE投資2件	(米国PE投資) インフラ関連サービス会社
20年1月	Hunt Real Estate Capital	(米国) 不動産ローン組成・サービシング会社
20年1月	小林化工	(国内PE投資) 後発医薬品の製造・販売会社

業績総括(3) セグメント利益 / セグメント資産



✓ セグメント利益:3,529億円 前年同期比で、「不動産」「事業投資」「リテール」「海外」が増益、「法人金融サービス」「メンテナンスリース」が減益

✓ セグメント資産:10.9兆円 前期末比+9%(+8,615億円)*新リース会計基準の影響約+2,000億円含む





セグメント利益: 132億円

前年同期比 ▲66億円 (▲33%)

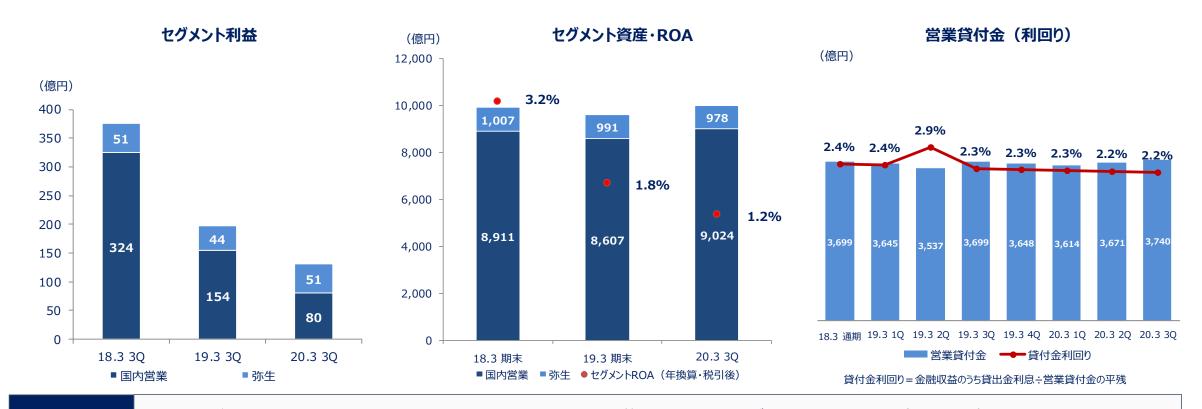
- ✓ 生命保険の代理店手数料収益減少、営業貸付金利回りは維持
- ✓ 弥生は有償サポート会員増とパッケージ製品の売上増加

【会計基準変更による影響: IDC(初期直接費用) ▲14億円】

セグメント資産: 10,001億円

前期末比 +404億円 (+4%)

✓ 新リース会計基準によりオペレーティング・リースが増加(+549億円)



事業の近況

- ✓ 事業承継課題を有する中堅中小企業に対し、金融ノウハウや営業ネットワークなどを活用した事業投資を積極推進
- ✓ 低スプレッドでのアセット積み上げには慎重に対応する一方で、サービス収入の源泉の多様化を図る。

セグメント別業績(1)法人金融サービス



	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 3Q	20.3期 3Q	前年同期比
金融収益	374	360	324	307	288	223	182	82%
有価証券売却・評価損益および受取配当金	10	71	25	171	-8	-7	15	-
オペレーティング・リース収益	245	255	256	234	235	178	171	96%
サービス収入	206	343	385	403	393	292	287	98%
セグメント収益	859	1,075	1,031	1,158	952	717	697	97%
支払利息	91	75	62	50	41	31	28	89%
オペレーティング・リース原価	122	133	143	141	143	107	110	103%
サービス費用	53	72	75	81	101	74	98	133%
販管費および一般管理費	309	371	391	391	379	282	329	117%
セグメント費用	610	658	682	688	690	511	586	115%
セグメント利益	255	424	380	493	255	198	132	67%
リース純投資	5,326	5,098	4,834	4,393	4,036	4,145	3,838	
営業貸付金	4,613	4,176	4,029	3,699	3,648	3,699	3,740	
セグメント資産	12,034	11,339	10,860	9,918	9,597	9,749	10,001	
ROA	1.46%	2.41%	2.34%	3.24%	1.79%	1.84%	1.23%	

セグメント別業績(2) メンテナンスリース



セグメント利益: 258億円

前年同期比 ▲46億円 (▲15%)

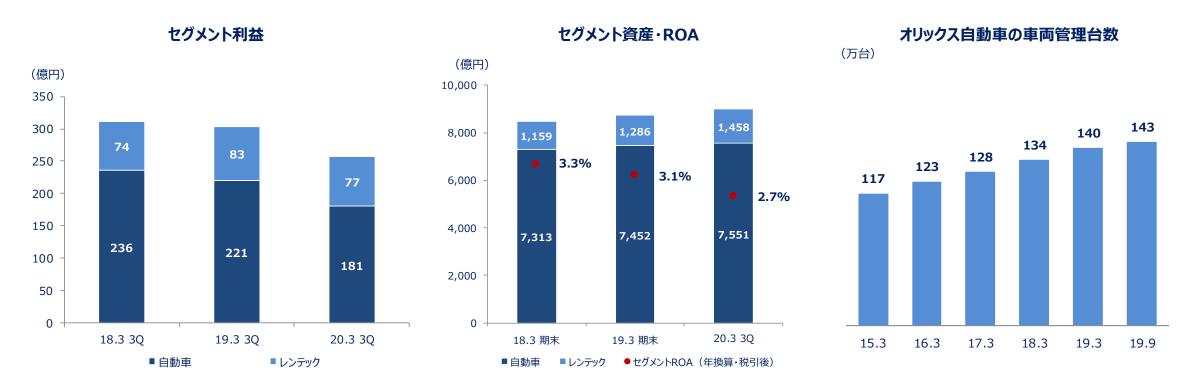
- ✓ 自動車・レンテックともに増収
- ✓ サービス向上に向けた販管費の増加等により減益

【会計基準変更による影響: IDC(初期直接費用)▲19億円】

セグメント資産:9,009億円

前期末比 +272億円(+3%)

- ✓ IT関連のレンタル資産が増加
- ✓ 自動車の資産は前期末比横ばい



事業の近況

- ✓ レンタカー事業と連携しカーシェアリング事業を全国へ拡大。鉄道会社などと提携しMaaS(Mobility as a Service)を推進
- ✓ 買収した淀川変圧器(受変電・発電設備レンタル会社)の事業拡大や、協働ロボット・ドローンなどレンタル商品のラインアップを拡大

セグメント別業績(2) メンテナンスリース



	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 3Q	20.3期 3Q	前年同期比
金融収益	117	125	134	142	144	107	118	110%
オペレーティング・リース収益	1,857	1,889	1,873	1,897	1,980	1,477	1,544	105%
サービス収入	625	668	663	678	706	524	531	101%
セグメント収益	2,641	2,721	2,710	2,759	2,882	2,143	2,240	105%
支払利息	42	40	37	32	30	23	22	92%
オペレーティング・リース原価	1,382	1,415	1,433	1,454	1,544	1,148	1,220	106%
サービス費用	385	397	392	401	406	301	315	105%
販管費および一般管理費	388	410	429	441	465	346	388	112%
セグメント費用	2,236	2,292	2,311	2,356	2,505	1,850	1,982	107%
セグメント利益	404	429	398	402	388	304	258	85%
		·		·				
リース純投資	2,571	2,855	3,089	3,199	3,284	3,257	3,256	
オペレーティング・リース投資	4,886	4,924	4,926	5,055	5,254	5,151	5,561	
セグメント資産	7,507	7,830	8,067	8,472	8,738	8,624	9,009	
ROA	3.58%	3.72%	3.42%	3.32%	3.09%	3.25%	2.65%	

セグメント別業績(3)不動産



セグメント利益:561億円

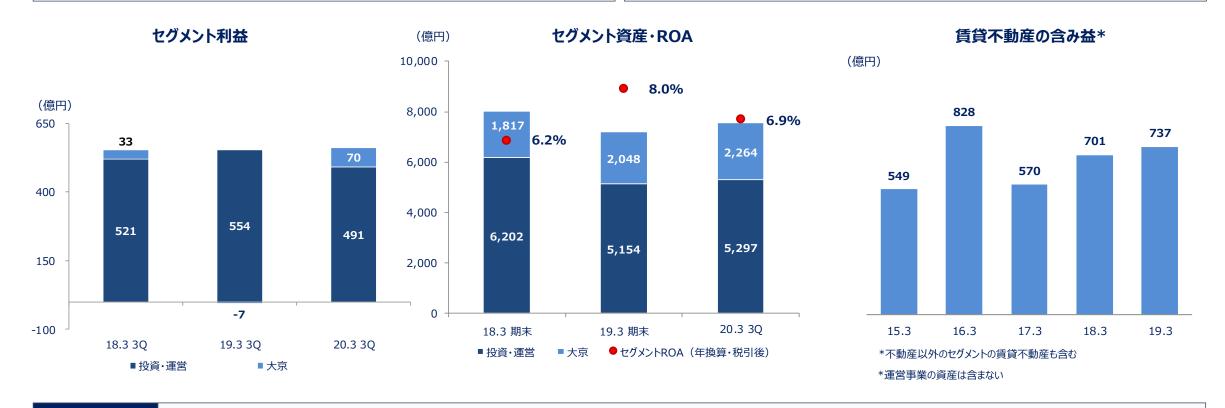
前年同期比 +13億円(+3%)

- ✓ 第2四半期でオリックス・リビングの売却益を計上
- ✓ 大京は、昨年比で第3四半期での分譲マンションの引渡しが増加

セグメント資産: 7,561億円

前期末比 +359億円 (+5%)

- ✓ 売却により資産は減少するものの、新規投資も継続
- ✓ 新リース会計基準によりオペレーティング・リース資産が増加(+923億円)



事業の近況

- ✓ 「別府温泉 杉乃井ホテル」リニューアル着工(2025年完了予定)、大阪うめきた2期(2024年概成)などの大規模プロジェクトを推進
- ✓ 2019年に完全子会社化した大京との一体経営に向け、「開発」「流通」「管理・工事」の各機能におけるリソース・ノウハウ共有を進める

セグメント別業績(3)不動産



								(単位:18円)
	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 3Q	20.3期 3Q	前年同期比
金融収益	42	69	24	21	21	15	21	140%
オペレーティング・リース収益	714	679	960	552	725	560	490	88%
うち賃貸不動産売却益	155	168	506	143	350	271	230	85%
商品および不動産売上高	1,046	1,348	1,220	1,318	1,415	677	678	100%
サービス収入	2,796	2,876	2,920	3,001	3,131	2,323	2,130	92%
セグメント収益	4,606	4,987	5,128	4,898	5,291	3,574	3,320	93%
支払利息	75	52	32	23	22	17	10	60%
オペレーティング・リース原価	385	345	303	276	260	192	186	97%
商品および不動産売上原価	983	1,131	1,009	1,122	1,214	613	631	103%
サービス費用	2,337	2,427	2,465	2,544	2,611	1,904	1,799	94%
販管費および一般管理費	438	458	439	432	440	330	328	99%
セグメント費用	4,617	4,505	4,290	4,440	4,570	3,064	2,960	97%
セグメント利益	98	523	845	744	892	547	561	102%
オペレーティング・リース投資	4,365	3,920	3,183	2,730	2,420	2,341	2,817	
事業用資産	1,722	1,775	1,850	1,955	1,461	1,980	1,286	
賃貸資産前渡金	447	385	198	216	299	306	379	
関連会社投資	1,067	1,075	1,106	1,002	1,071	1,051	962	
セグメント資産	10,549	9,177	8,439	8,020	7,202	7,913	7,561	
ROA	0.57%	3.52%	6.55%	6.17%	8.03%	6.27%	6.94%	

セグメント別業績(4)事業投資



セグメント利益:556億円

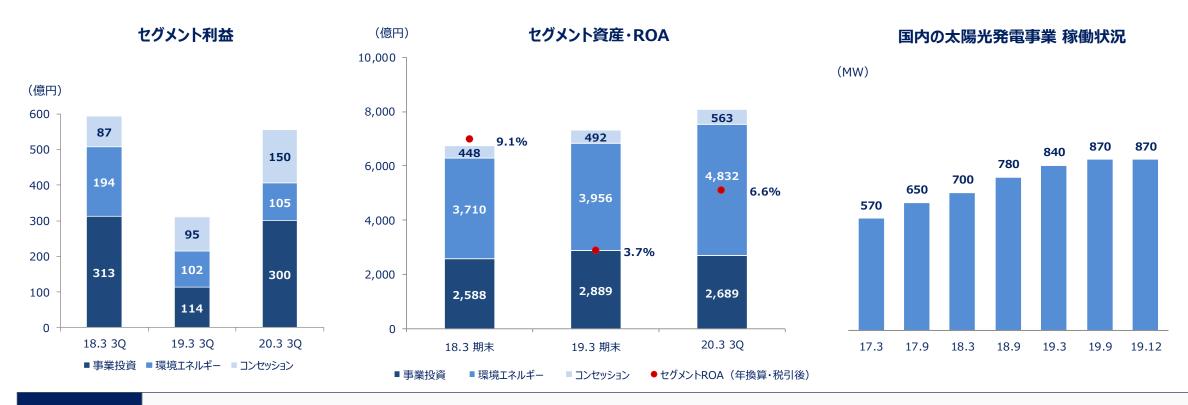
前年同期比 +245億円 (+79%)

- ✓ PE投資の売却益を第1、第3四半期に計上。コンセッションも好調
- ✓ 国内の太陽光発電事業は堅調に推移

セグメント資産:8,085億円

前期末比 +749億円 (+10%)

- ✓ 海外の風力発電事業の投資先を完全子会社化
- / 新リース会計基準により環境エネルギー関連の事業用資産が増加 (+400億円)



事業の近況

- ✓ PE投資は過去5年で1,000億円以上の投資利益を創出、長期的な戦略投資も視野に入れ投資先を発掘する。今期投資実績は2件 ✓ 国内の太陽光発電事業は順調に進捗(建設中案件を含めて1GW確保)、地熱発電事業、風力発電事業も推進中
 - Copyright © 2020 ORIX Corporation All rights reserved.

セグメント別業績(4)事業投資



								(半位.
	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 3Q	20.3期 3Q	前年同
金融収益	160	129	110	93	91	70	52	
有価証券売却・評価損益および受取配当金	93	102	129	76	1	1	21	14
商品および不動産売上高	2,765	5,967	8,250	9,242	4,360	3,712	1,975	
サービス収入	862	1,000	1,188	1,401	1,691	1,250	1,356	1
グメント収益	3,897	7,214	9,700	10,835	6,152	5,040	3,413	
支払利息	33	32	49	57	71	52	58	1
商品および不動産売上原価	2,489	5,594	7,794	8,755	4,006	3,443	1,723	
サービス費用	748	830	916	1,106	1,317	967	1,032	1
販管費および一般管理費	298	417	550	555	519	381	374	
2グメント費用	3,589	6,876	9,371	10,473	5,917	4,846	3,188	•
寺分法投資損益等	71	141	405	479	147	117	331	2
2グメント利益	378	479	734	841	382	311	556	17
営業貸付金	1,039	941	715	594	476	502	404	
投資有価証券	841	666	464	286	258	273	241	
事業用資産	909	1,306	1,877	2,081	2,650	2,595	3,643	
棚卸資産	308	211	248	243	308	310	321	
関連会社投資	356	918	603	1,569	1,620	1,614	1,489	
営業権、企業結合で取得した無形資産	563	686	1,165	1,227	1,587	1,574	1,398	
グメント資産	4,584	5,404	5,938	6,746	7,336	7,359	8,085	
ROA	5.77%	6.37%	8.84%	9.06%	3.71%	4.03%	6.58%	

セグメント別業績(5) リテール



セグメント利益: 704億円

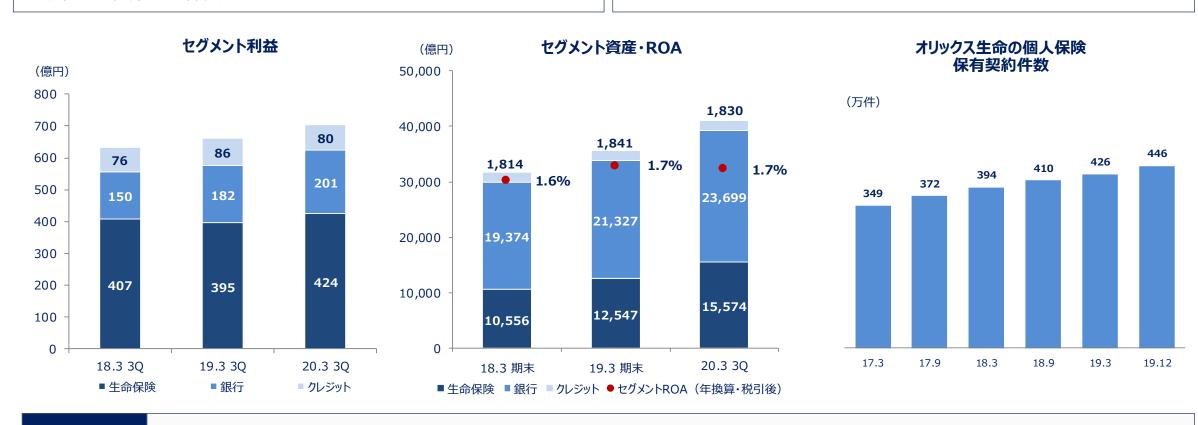
前年同期比 +42億円 (+6%)

- ✓ 生命保険は順調。前第3四半期は変額保険に関する損失を計上
- ✓ 銀行の金融収益が伸長

セグメント資産: 41,103億円

前期末比 +5,389億円 (+15%)

✓ 生命保険の投資有価証券、銀行の営業貸付金が増加



事業の近況

- ✓ 生命保険は、商品ラインアップの拡充などにより、保有契約件数が順調に増加
- ✓ 銀行は、資金粗利ざや2%水準を確保しながら順調に資産を拡大

セグメント別業績(5) リテール



	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 3Q	20.3期 3Q	前年同期比
金融収益	568	610	681	729	767	576	602	104%
生命保険料収入および運用益	3,525	1,908	2,979	3,530	3,483	2,291	2,917	127%
セグメント収益	4,261	2,544	3,687	4,287	4,289	2,893	3,555	123%
支払利息	58	47	41	40	41	31	33	106%
生命保険費用	2,720	1,220	2,014	2,563	2,478	1,537	2,103	137%
販管費および一般管理費	605	675	770	792	787	563	585	104%
貸引繰入、長期性評価損、有価証券評価損	40	74	101	112	115	84	98	116%
セグメント費用	3,422	2,034	2,958	3,542	3,447	2,230	2,850	128%
セグメント利益	1,206	518	729	745	842	662	704	106%
営業貸付金	14,117	15,231	17,270	18,528	20,500	19,831	22,917	
投資有価証券	22,286	18,763	15,027	12,603	14,748	13,671	17,728	
セグメント資産	37,172	34,721	32,934	31,745	35,714	33,961	41,103	
ROA	2.62%	0.96%	1.47%	1.57%	1.71%	1.84%	1.68%	

セグメント別業績 (6) 海外



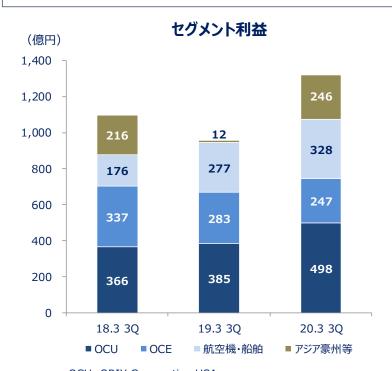
セグメント利益: 1,319億円 前年同期比 +363億円 (+38%)

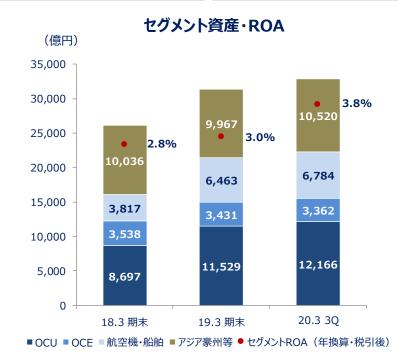
- ✓ 19.3期の新規投資が貢献。アジア、米国で売却益も計上
- ✓ 為替影響▲39億円

セグメント資産:32,832億円

前期末比 +1,442億円 (+5%)

- 米国で営業貸付金、航空機事業でオペレーティング・リースが伸長
- 為替影響▲483億円を除くと、前期末比+1,925億円





新規投資による利益貢献

19.3期 大型投資案件	20.3期 3 Q セグメント利益
NXT Capital (ローン組成・資産運用)	83億円
Avolon (航空機リース)	141億円

OCU: ORIX Corporation USA OCE: ORIX Corporation Europe

事業の近況

- ✓ 引き続き欧米におけるローン・アセットマネジメント事業の多面的な展開を図る。米国でHunt Real Estate Capitalの全株式を取得
- ✓ Avolonとのシナジーを追求し、航空機リース事業のスケールアップとプレゼンスのさらなる向上を図る

セグメント別業績 (6) 海外



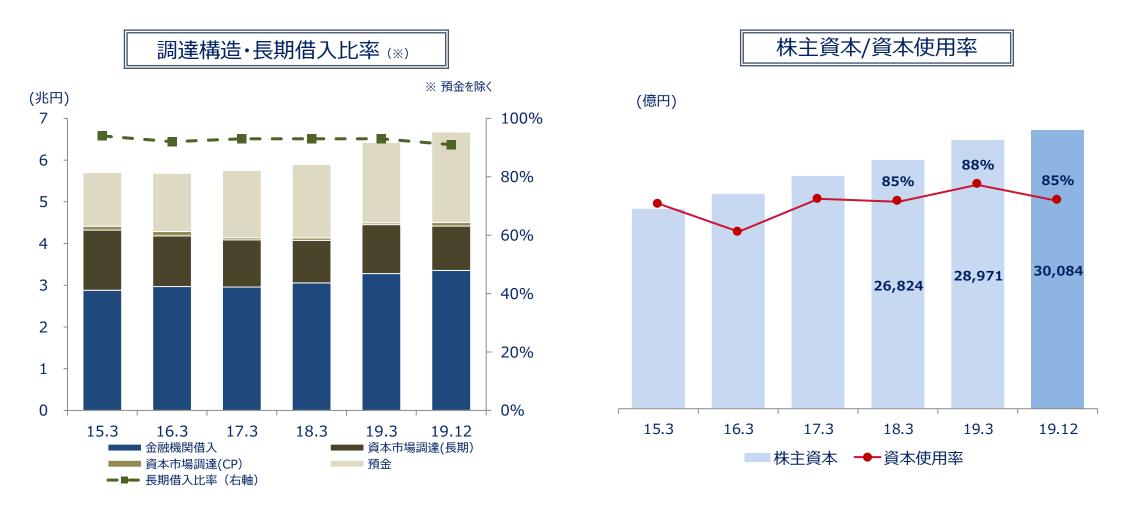
	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 3Q	20.3期 3Q	前年同期比
金融収益	673	794	851	984	1,116	805	936	1160
有価証券売却・評価損益および受取配当金	298	161	133	175	166	55	235	4259
オペレーティング・リース収益		920	884				849	
	821			1,116	1,219	936		919
サービス収入	3,215	2,501	2,167	2,386	2,331	1,794	,	919
セグメント収益	5,652	5,304	4,627	4,796	4,907	3,654	3,692	1019
支払利息	340	377	403	515	628	445	515	1169
オペレーティング・リース原価	497	560	549	644	625	467	476	1029
サービス費用	762	760	656	704	665	508	425	849
販管費および一般管理費	2,163	1,978	1,693	1,779	1,837	1,343	1,395	1049
セグメント費用	4,648	4,509	3,905	3,829	3,951	2,886	2,914	1019
セグメント利益	1,058	1,485	1,124	1,066	1,254	956	1,319	1389
リース純投資	3,866	3,510	3,577	3,687	3,624	3,643	3,706	
営業貸付金	4,670	5,507	6,135	5,346	8,148	7,739	9,093	
オペレーティング・リース投資	2,792	3,762	4,206	4,911	5,091	5,034	5,541	
投資有価証券	3,821	3,542	4,333	4,134	3,853	4,121	3,962	
関連会社投資	2,090	3,057	3,322	3,146	5,567	5,653	5,585	
営業権、企業結合で取得した無形資産	4,890	3,947	3,802	4,270	4,523	4,607	4,397	
セグメント資産	22,801	23,993	25,781	26,088	31,389	31,488	32,832	
ROA	3.13%	4.22%	3.08%	2.81%	2.99%	3.03%	3.75%	

財務の健全性 資金調達構造 / 株主資本使用率



✓ 資金調達構造 : 資金調達手法を多様化、高い長期借入比率を維持

✓ 株主資本使用率:引き続き、リスク/リターンをコントロールしつつ成長を目指す





20.3期3Q当期純利益は2,443億円(前年同期比3.4%増) ROE(年換算)11.0%

20.3期の当期純利益目標3,000億円に向けて、順調に進捗

引き続き、株主還元を考慮し、持続的な成長を目指す



補足資料



2019年3月期~2021年3月期

利益成長

2020年3月期:

当期純利益(予想)3,000億円(前年同期比▲7%, ただし税前利益+9%)

2021年3月期:

当期純利益(予想)2020年5月 発表予定

健全性

健全な財務運営を継続(A格維持を最大限努力)

株主還元

- ① 2020年3月期の通期配当は、配当性向30%もしくは76円の高い方
- ② 自社株買いは1,000億円を上限として取得予定(期間:2019/11~2020/5)

中長期的な方向性

資本効率 株主還元

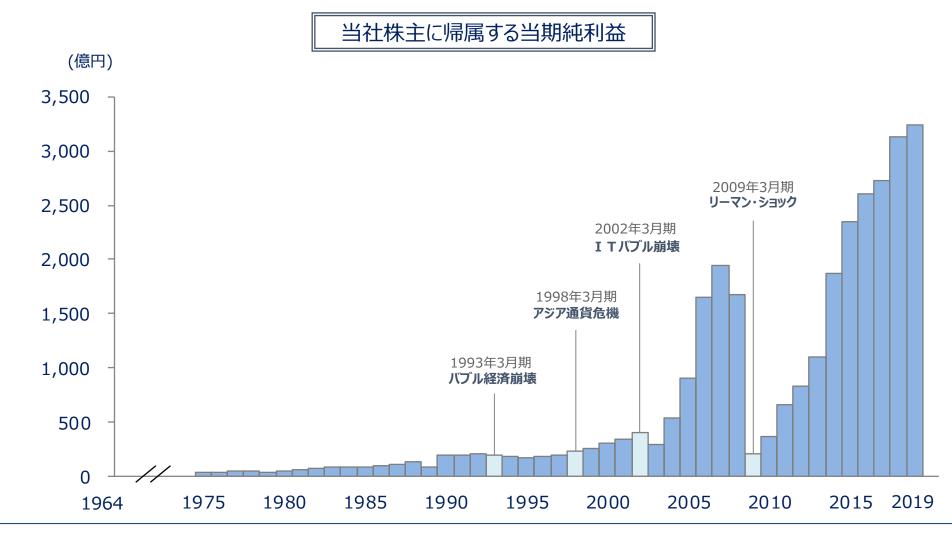
ROE11%以上

- ① 配当の下限設定を検討
- ② 機動的な自社株買いを検討 (発行株式総数の5%超過分は原則消却)

オリックスについて 持続的な成長



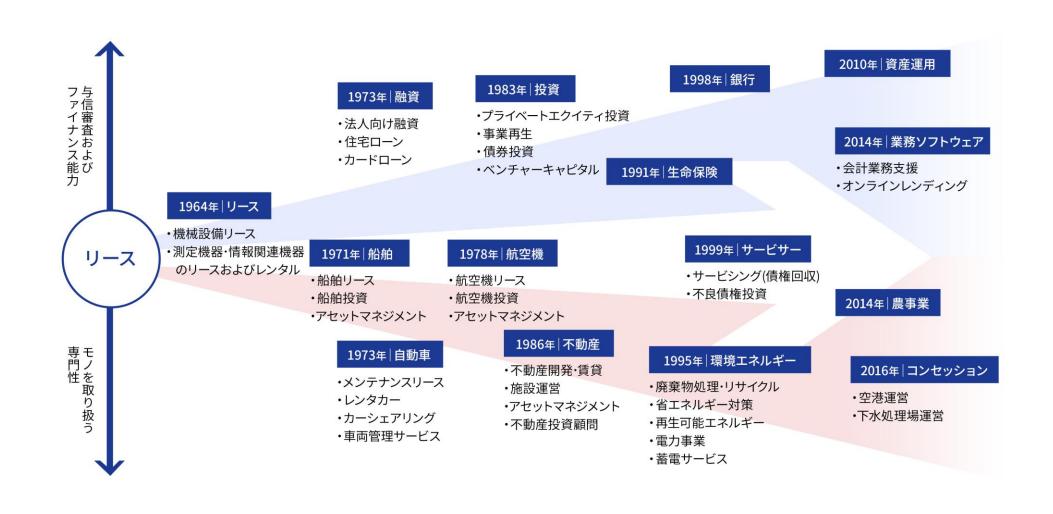
✓ 設立初年度を除き、54年間毎期黒字を計上



オリックスについて 事業の専門性とグループの総合力



✓ 「金融」と「モノ」の専門性を高めながら、隣へ、そのまた隣へと事業展開

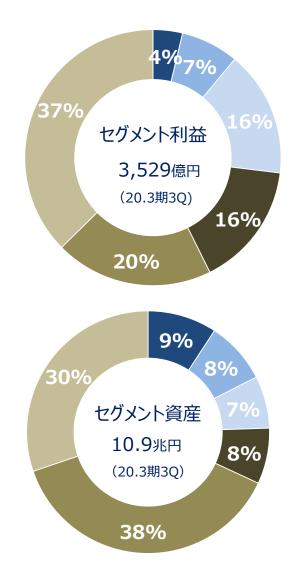


オリックスについて セグメント別の利益・資産の構成



✓ それぞれの事業が独自の強みを最大限に発揮し、相乗効果を生み出している

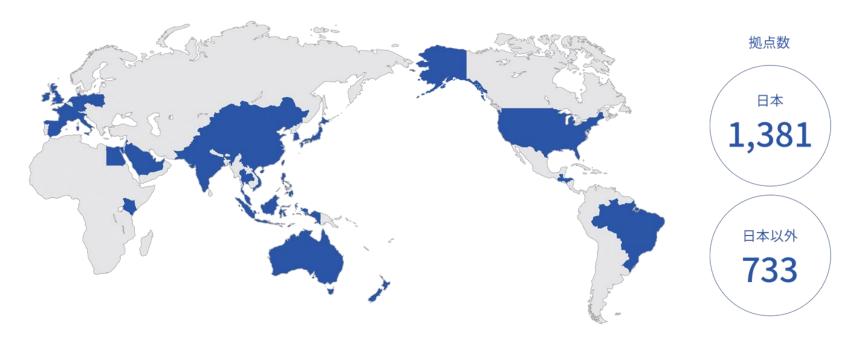
法人金融サービス	金融、各種手数料ビジネス
メンテナンスリース	自動車リース・レンタカー・カーシェアリング、電子計測器・IT関連機器 などのレンタルおよびリース
不動産	不動産開発・賃貸・管理、施設運営、不動産の資産運用
事業投資	環境エネルギー、企業投資、コンセッション
リテール	生命保険、銀行、カードローン
海外	アセットマネジメント、航空機・船舶関連、企業投資、金融



オリックスについて グローバルネットワーク



✓ 国内で培ったノウハウを元にネットワークを拡大、世界37ヶ国・地域で事業を展開



(2019年9月末日時点)

1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代
		グローバルネッ	トワークの国数	
7カ国	12カ国	18カ国	26カ国	37カ国
	·スを中心とした ·トワークの拡大		ワークの拡大継続 r 投資への事業が多角化	ロベコ買収や、環境エネルギー事業の展開を 通じてさらに事業分野が拡大

補足資料(1)業績推移総括



	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 3Q	20.3期 3Q	前年同期比
営業収益	21,743	23,692	26,787	28,628	24,349	17,962	16,844	94%
当期純利益 ※1	2,349	2,602	2,732	3,131	3,237	2,362	2,443	103%
セグメント資産	94,648	92,463	92,019	90,989	99,977	99,093	108,592	110%
総資産	114,399	109,929	112,319	114,260	121,749	121,218	128,430	106%
株主資本	21,522	23,104	25,077	26,824	28,971	28,175	30,084	107%
株主資本比率	18.8%	21.0%	22.3%	23.5%	23.8%	23.2%	23.4%	0.2%
ROE	11.5%	11.7%	11.3%	12.1%	11.6%	11.5%	11.0%	-0.5%
セグメント資産ROA	2.77%	2.78%	2.96%	3.42%	3.39%	3.31%	3.12%	-0.19%
D/E比率								
長短借入債務および預金/株主資本	2.7倍	2.5倍	2.3倍	2.2倍	2.2倍	2.3倍	2.2倍	-0.1倍
長短借入債務/株主資本	2.1倍	1.9倍	1.7倍	1.5倍	1.6倍	1.6倍	1.5倍	-0.1倍

^{※1} 当社株主に帰属する当期純利益

^{※ 2 2020}年3月期第1四半期より、会計基準書アップデート第2016-02号(会計基準編纂書842(リース))を適用しています。

補足資料(2)セグメント別利益



	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 3Q	20.3期 3Q	前年同期比
法人金融サービス	255	424	380	493	255	198	132	67%
メンテナンスリース	404	429	398	402	388	304	258	85%
不動産	98	523	845	744	892	547	561	102%
事業投資	378	479	734	841	382	311	556	179%
リテール	1,206	518	729	745	842	662	704	106%
海外	1,058	1,485	1,124	1,066	1,254	956	1,319	138%
セグメント利益合計	3,398	3,857	4,209	4,291	4,014	2,978	3,529	119%

^{※ 2019}年3月期第4四半期より、株式会社大京は、事業投資事業から不動産事業にセグメント区分を変更し、セグメント情報を過年度に遡って組替再表示しています。

補足資料(3)セグメント別資産



	15.3	16.3	17.3	18.3	19.3	19.3期 3Q	20.3期 3Q	前期末比
法人金融サービス	12,034	11,339	10,860	9,918	9,597	9,749	10,001	104%
メンテナンスリース	7,507	7,830	8,067	8,472	8,738	8,624	9,009	103%
不動産	10,549	9,177	8,439	8,020	7,202	7,913	7,561	105%
事業投資	4,584	5,404	5,938	6,746	7,336	7,359	8,085	110%
リテール	37,172	34,721	32,934	31,745	35,714	33,961	41,103	115%
海外	22,801	23,993	25,781	26,088	31,389	31,488	32,832	105%
セグメント資産合計	94,648	92,463	92,019	90,989	99,977	99,093	108,592	109%

^{※ 2019}年3月期第4四半期より、株式会社大京は、事業投資事業から不動産事業にセグメント区分を変更し、セグメント情報を過年度に遡って組替再表示しています。

補足資料 (4) 損益の状況



	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 3Q	20.3期 3Q	前年同期比
金融収益	1,928	2,082	2,119	2,283	2,429	1,800	1,905	106%
有価証券売却益および受取配当金	564	358	303	433	160	48	277	580%
オペレーティング・リース収益	1,249	1,288	1,551	1,273	1,566	1,218	1,058	87%
生命保険料収入および運用益	795	681	958	965	1,006	752	815	108%
商品および不動産売上高	488	858	865	755	609	374	344	92%
サービス収入	3,340	2,825	2,754	2,981	3,105	2,417	2,248	93%
営業粗利益 ※1	8,365	8,092	8,549	8,691	8,874	6,608	6,647	101%
支払利息	726	728	729	768	933	674	740	110%
販売費および一般管理費	4,278	4,227	4,187	4,316	4,370	3,201	3,378	106%
貸引·減損	555	297	384	240	263	149	163	109%
その他の損益(純額)	237	-37	-44	4	13	2	-1	_
営業利益	2,568	2,877	3,292	3,362	3,294	2,582	2,367	92%
持分法投資損益	305	457	265	501	330	165	542	328%
子会社·関連会社株式売却損益等	567	579	692	492	333	205	595	291%
税引前当期純利益	3,440	3,913	4,250	4,355	3,957	2,952	3,505	119%
当期純利益	2,349	2,602	2,732	3,131	3,237	2,362	2,443	103%

^{※1} 営業収益に対応する原価・費用を控除したネットの金額

補足資料 (5) 財務の状況



資金調達残高	15.3	16.3	17.3	18.3	19.3	19.3期 3Q	20.3期 3Q	前年同期比
СР	896	1,024	501	549	411	1,886	843	-1,043
金融機関借入	28,816	29,706	29,582	30,562	32,794	32,870	33,559	689
社債•MTN	11,515	9,381	8,851	9,401	9,975	9,548	9,308	-240
預金	12,874	13,985	16,146	17,575	19,277	18,846	21,691	2,845
ABS、CMBS	2,913	2,755	2,451	821	1,778	1,889	1,323	-566
長短借入債務および預金	57,014	56,850	57,531	58,907	64,235	65,039	66,724	1,685
長期借入比率	94%	92%	93%	93%	93%	86%	91%	5%

手元流動性 (銀行・生命を除く)	15.3	16.3	17.3	18.3	19.3	19.3期 3Q	20.3期 3Q	前年同期比
現金および現金等価物(①)	7,387	5,887	5,866	6,177	5,610	5,576	4,724	-852
コミットメントライン未使用額(②)	4,194	3,899	3,940	3,327	3,466	2,532	3,369	837
手元流動性(①+②)	11,581	9,786	9,806	9,504	9,076	8,108	8,093	-15
市場性短期債務(③) ※1	4,341	3,623	2,909	1,384	1,291	3,079	2,229	-850
手元流動性カバー率(〔①+②〕/③)	267%	270%	337%	687%	703%	263%	363%	100%

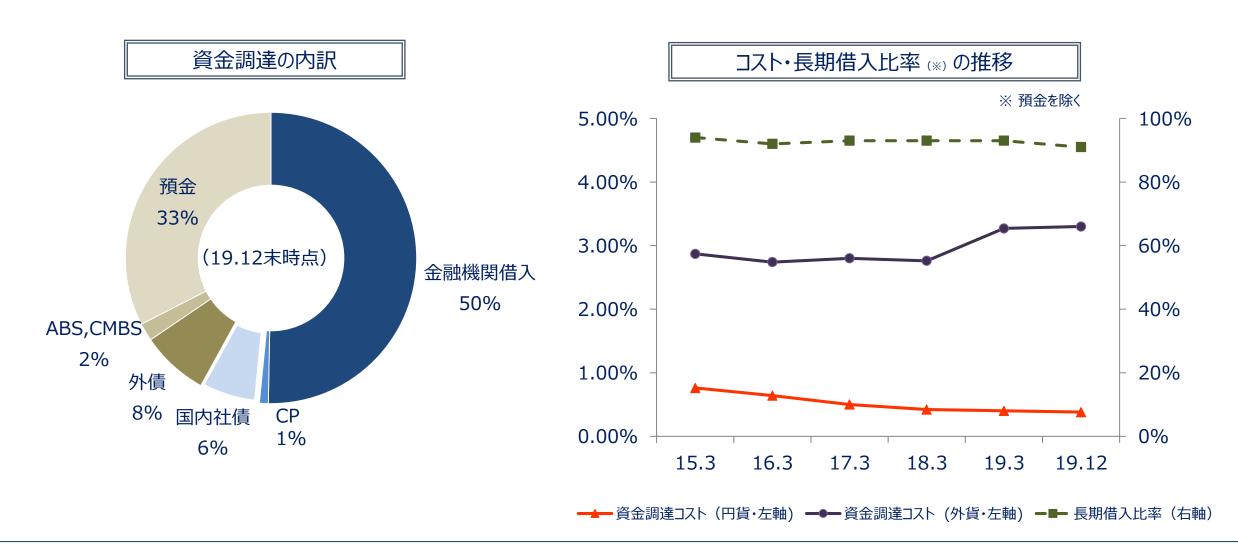
資金調達コスト (預金含む)	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 3Q	20.3期 3Q	前年同期比
円貨	0.76%	0.64%	0.50%	0.42%	0.40%	0.41%	0.38%	-0.03%
外貨	2.87%	2.74%	2.80%	2.76%	3.27%	3.23%	3.30%	0.07%

^{※1 1}年以内に償還予定の社債・MTNと、CP残高の合計値

財務(1)調達構造



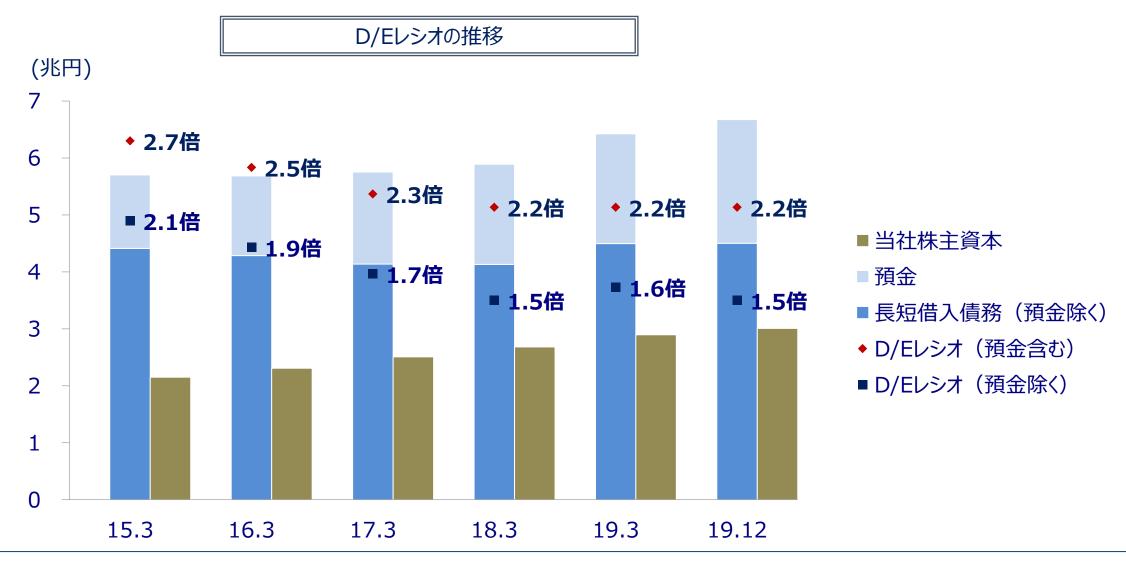
✓ 多様化された資金調達。高い長期借入比率を維持しながらコストをコントロール



財務 (2) D/Eレシオ



✓ D/Eレシオは低位で推移

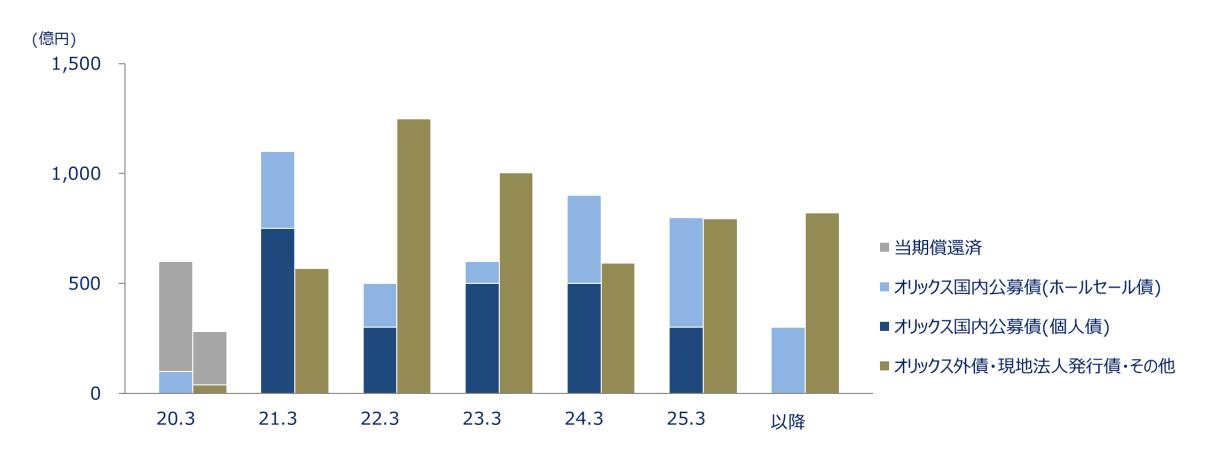


財務(3) 社債償還スケジュール



✓ 償還期日の分散を通じ、各期償還額の平準化を実現



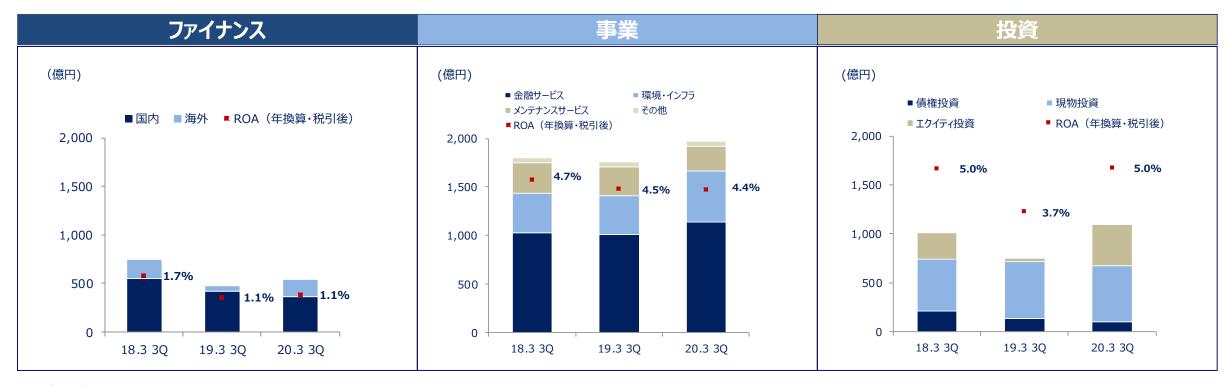


ポートフォリオの3分類で見る実績



「ファイナンス」は低金利環境下では積極的に伸ばさず現状維持、引き続き高いROAを維持する「事業」「投資」へ注力

セグメント利益



(注) 各種調整は行っていません

ポートフォリオの3分類



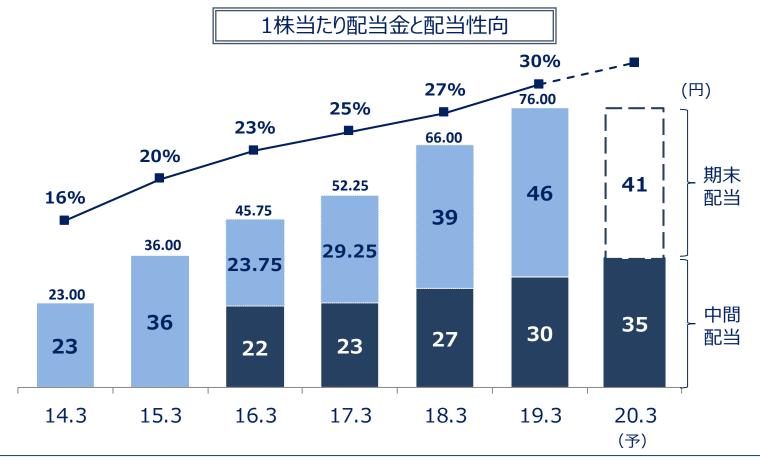
		ファイナンス	事業	投資
△↓※五	主なリスク	クレジットリスク	運営リスク、事業リスク	マーケットリスク
分類	資本負荷	低	中~高	高

		国内	海外	環境・インフラ	金融サービス	メンテナンス サービス	その他	債権投資	現物投資	エクイティ投資
	法人金融サービス	リース 貸付金 フィービジネス					弥生			新規事業
	メンテナンスリース					自動車レンタル				
セグメント	不動産			施設運営 大京	REIT 投資顧問				不動産投資	
	事業投資			環境エネルギー コンセッション				サービサー		PE投資
	リテール	銀行 カードローン、保証			生命保険					
	海外		リース 貸付金		アセットマネジメント			債券投資	航空機 船舶	PE投資

株主還元



- ✓ 2020年3月期の中間配当額は35円を実施
- ✓ 2020年3月期の通期配当額は、配当性向30%もしくは76円の高い方
- ✓ 持続的な利益成長に向けた新規投資と、安定した還元との最適なバランスを考慮



本資料に関する注意事項



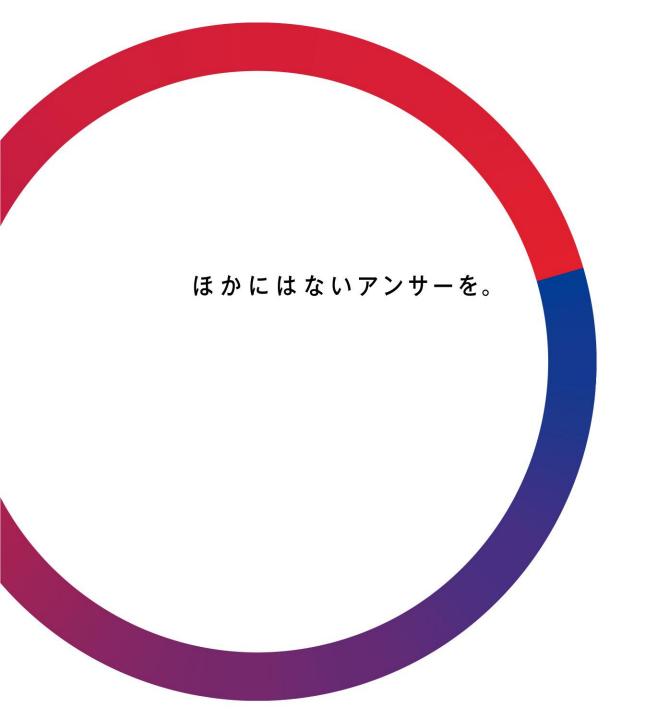
本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関係する見通しであり、これらは、現在 入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会(SEC)に提出しておりますForm20-Fによる報告書の「リスク要因(Risk Factors)」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。





オリックスに関する追加情報については弊社ホームページをご参照いただくか、下記までご連絡下さい。

投資家情報

URL: https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/

IR資料室

URL: https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/library/

オリックス株式会社 経営計画部

〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1

TEL: 03-3435-3121

FAX: 03-3435-3154